

なかはらちくほぜんこうじょうかつどうそしき
中原地区保全向上活動組織（高山村）

・組織の活動面積	A= 10.6 ha
・組織の構成員数	約 150 人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 □
取組開始年度	平成19年～	—	—

構成員	中原区、中原耕作者組合、中原老人ふれあいクラブ、中原育成会
-----	-------------------------------

組織の概要

「日本で最も美しい村」連合に加盟する高山村の中心部にあり、恵まれた自然条件を活かし、「食の安全安心な農作物の栽培」、「ホテルの里づくり」など、かけがえのない豊かな自然と共に農地・水保全活動に取り組んでいます。そばや大豆の作付けなど休耕農地も組織で有効に活用しています。中原地区は人情味豊かな土地で、団地造成による新規加入者もこの地区にすっかり溶け込んでいます。世帯数107戸、人口352名の小さな集落ですが、耕作放棄地ゼロで頑張っています。

自然と共存し元気を出して耕作放棄地をなくそう

生物調査



どんな生物が生息しているか子供達が調査
 長野県自然観察インストラクター 関舜二先生が説明



ザリガニ

そば打ち講習会



区民の皆さんのために頑張るそば打ちの皆さん

放棄地の草刈



そばの試食会に、約150人が集まり、「美味しい」と言って「次回も是非開催してほしい」と、そば打ちの皆さんや、農地・水保全向上活動の皆さんに要望していました



耕作放棄地を耕して、そばを栽培し、区民の皆さんに提供

そば試食

